

第4期四谷地区協議会会議録

分科会名	お宝実行委員会	開催回	① 第8回 24年1月10日 ② 第9回 24年2月1日 ③ 第10回 24年3月6日
会 場	四谷特別出張所 会議室		
出席者	区民	第8回 12名 第9回 8名 第10回 10名	職 員 2名
テーマ	① 目録の確認と鑑定会 ② 発表会準備会 ③ 発表会準備会		
会議内容 主な意見	<p>【第8回 24年1月10日】</p> <p>1 5周年企画特別講演について 5周年特別講演 花上嘉成「都電にまつわるはなし」に決定 区広報「しんじゅく」3月5日号に発表会案内を掲載することとした。 協議会広報誌「声」お宝さがしコーナーでは、都電の写真にまつわる話を掲載予定。</p> <p>2 目録の確認(校正) ・1と7の判別ができる字体を検討する。 ・四谷劇場については各劇場・寄席で校正の確認いただくこととする。</p> <p>～ 7時より鑑定会開始 ～</p> <p>① 鑑定会 応募いただいた方を招き、鑑定士・新宿歴史博物館副館長・学芸員が中心となり 応募動機、応募品の来歴についてお話をうかがった。</p> <p>以下鑑定会の感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎回の応募品を楽しみにしている。今回もバラエティに富んだ内容で興味深い。 ・父の思い出をこうした形で見ていただき感慨深い。 ・話をしながら、いろいろなことを思いだせた。 ・四谷の懐かしい風景を写真を介して共有できてよかった。 ・戦時中の思い出も風化させずに伝えていきたい。 悔しい思いや、不条理なことが多くあったことを伝えたかった。 ・自分の人生で大切にしている宝物を奇しくも、披露できうれしい。 ・来歴を語るにも万感の思いがこもり、熱が入る。 ・名誉区民となった父の教え子が、昔遊びに来た際に書いていった書を新宿区に寄贈できる良い機会となった。 		

・普段は仕舞い込んでいる 40 年近く前の若き日の思い出を出

- ① 若い日の思い出
- ② 銀座松屋で出品 昭和 30 年代
- ③ 出品説明
- ④ 原先生 勉強 印象 出品者と話せてよかった
- ⑤ 鈴木 バリエティに富み
- ⑥ 1956 年生まれなので 世界大会 驚いた
- ⑦ 東郷青らしい 色紙 新宿ご縁
- ⑧ 平松 洋画家
- ⑨ 金子名誉区民左 すいほうローマ字
- ⑩ カメラ 40 センチ 現物拝見したい
- ⑪ 都電 四谷のお宝らしい
- ⑫ 金属供出 無念・・・物語が感じられて興味深かった
- ⑬ 今野
- ⑭ カメラ気になっていた。花上さん釜石田舎写真 デジタル・・・
- ⑮ 博物館にとっても フィルム痛むスルメ 白黒 一度水につけ洗う スチール派
- ⑯ ※個展でもしたら
- ⑰ 佐藤さん 矢立？煙管？時代 100 年母の父のもの 印伝
- ⑱ 寛永江戸時代 お財布がくっついて機能している ポータブル
- ⑲ 矢立は墨を入れるものがあるはず・・・
- ⑳
- 21
- 22
- 234、その他
- 24次回賞名を決定する 歴史博物館 鑑定士賞 次回までに決まっていれば・・・
- 25歴博賞 いくつか カメラ屋さんご持参いただく
- 26東武鉄道博物館館長 花上さん
- 27
- 28今回このような 目録 次回
- 29
- 30
- 31
- 32次回開催日
- 33お宝さがし実行委員会 2月7日(火) 18時30分～四谷特別出張所会議室
- 34第1分科会 1月17日(火) 18時30分～四谷特別出張所会議室

	<p>35</p> <p>36</p> <p>37第6回 平成22年12月7日 鑑定士来会 応募者19名 発表数23点(他 民具、書簡等多数) 以下の点を留意し発表することとした。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、 一人で多数の応募は代表的なものを紹介し、発表会当日はまとめて展示し、紹介できるようにする。 2、 多数の応募品については個人のコレクションとして紹介。今後展示会を企画した際には別途目録を作成する。 <p>38第7回 平成23年1月11日 鑑定士来会 賞名の決定→応募リスト参照</p> <p>39第8回 平成23年2月1日 スライド内容の確認 リハーサル内容の確認 当日の役割分担の確認</p> <p>40第9回 平成23年3月1日 リハーサル 賞品(お宝マーク入り風呂敷)の確認 ※発表会(3月12日)は地震災害により延期が決定、後日日程調整することとなった。</p>
次回日程	平成23年4月5日(変更)→4月12日(火)18:30 出張所会議室